

## 宮城外洋帆走協会 平成28年度 第1回通常総会議事録

1. 開催日時 平成28年3月27日 15時から16時30分
2. 開催場所 宮城外洋帆走協会事務所
3. 出席者 出席会員17名 委任状出席37名 合計54名
4. 審議の経過

### (1) 開会

定刻となり、総務担当の木村重雄理事が開会の宣言をした。

### (2) 理事長挨拶

続いて赤石隆理事長が、理事長挨拶を行い、今回の総会は、平成27年度の決算と棧橋の会計と役員の変更が議題であり、棧橋は、なんとかギリギリで運営されていることが説明された。

### (3) 議長選出

続いて議長選出を行い鈴木明朗副理事長が議長に選出された

### (4) 審議

鈴木議長は、議長に就任する旨を宣し、定足数の確認を求めた。

木村理事が、現在会員数85名 出席会員17名 委任状出席37名であり出席者の合計が54名であるため、会員の過半数の43名を超えているので総会は成立すると説明した。

続いて、会の現状報告として、鈴木議長は、会員数の増減と艇登録数についての報告を求めた。

木村理事が、平成27年12月末日現在の会員数は86名で、入会数7退会数7名であることを説明した。艇登録数は、小浜37艇、松島5艇、浜田1艇で、小浜には5艇のプレジャーボートの登録があることを説明した。

## 第1号議案 平成27年度事業報告並びに収支決算報告

続いて、第1号議案の審議に入った。

鈴木議長は、平成27年度事業報告並びに収支決算報告について説明を求めたところ、議長の求めに応じて、木村理事が、資料をもとに説明を行った。

説明後、飯島監事が監査報告を行い、監査の結果、収支計算書、帳票類は適正に処理されており相違ないことを認めると報告した。

鈴木議長は、出席者に対して第1号議案についての質問を求めたが、出席会員からは特に質問はなかった。そこで、出席者に対し、第1号議案について賛成する方は拍手で意思表示するよう求めたところ、拍手多数となり、第1号議案は承認

された。

## 第2号議案 棧橋特別会計収支報告

続いて、第2号議案の審議に入った。

鈴木議長は、棧橋特別会計収支報告について説明を求めたところ、議長の求めに応じて、木村理事が、資料をもとに説明を行った。

説明後、飯島監事が監査報告を行い、監査の結果、収支計算書、帳票類は適正に処理されており相違ないことを認めると報告した。

鈴木議長は、出席者に対して第2号議案についての質問を求めたが、出席会員からは特に質問はなかった。そこで、出席者に対し、第2号議案について賛成する方は拍手で意思表示するよう求めたところ、拍手多数となり、第2号議案は承認された。

上記承認の後、報告事項として、橋内理事から、新会計基準に合わせて会計を進めていること、浄化槽設置費用の処理、棧橋会計は共益事業としていく方針であること、棧橋の減価償却を計上する検討をしていること、公益社団法人から持ち越した資産が少しずつだが着実に減少していることなどが説明された。

## 第3号議案 役員選任

続いて、第3号議案の審議に入った。

鈴木議長は、役員選任について説明を求めたところ、議長の求めに応じて、木村理事が、資料をもとに説明を行った。

具体的には、新理事は、赤石隆、鈴木明朗、木村重雄、橋内潔根、佐藤敬、加藤馨、吉田幸夫、阿部匡志、乾清重、監事は、飯島俊彦、武藤潤隆の各氏の立候補があった旨説明された。

鈴木議長は、出席者に対して第3号議案についての質問を求めたが、出席会員からは特に質問はなかった。そこで、出席者に対し、第3号議案について賛成する方は拍手で意思表示するよう求めたところ、拍手多数となり、第3号議案は承認された。

## その他

その他の報告として、赤石理事長から、小浜入口に多賀城・セッケン商工会会長が中心となって進めているハーバースクエア構想の宿泊施設について、MORCに意見を求められているので、希望があれば訊ねたいとの質問があり、出席者から、駐車場や公衆トイレの設置を希望するとの意見があった。

また、A 棧橋に係留中のアルテミスが、活動拠点を神奈川県に1～2年移すとの説明があった。

その後、鈴木議長は、他の報告や質問が無いかどうかを出席者に尋ねたところ、特に無いとの発言があったので、以上で審議の全てを終了し議長としての職務を終える旨を宣した。

(5) 閉会

総務担当の木村重雄理事は、鈴木議長の退席の後、閉会の宣言をした。